

| | | | | | |
|----------|-------------------|---------|-------|-----|---|
| 授業科目名・形態 | 精神保健福祉援助技術各論 I 講義 | 必修・選択の別 | 選択 | | |
| 担当者氏名 | 古川博文 | 開講期 | 3年・前期 | 単位数 | 2 |

【授業の主題】

この講義は、精神保健福祉専門職としてのさまざまな援助技術の技法に関する基礎知識を学ぶ。

【到達目標】

- 1) 精神障害者を対象とした相談援助の歴史の変遷を我が国と海外を比較しながら理解する。
- 2) 精神保健福祉士としての支援の在り方について深く考察する。
- 3) 精神障害者支援における面接技法に関する高度専門知識を習得する。

【授業計画・内容】

- 第1回 精神保健福祉の歴史と動向①（日本）
- 第2回 精神保健福祉の歴史的動向②（世界）
- 第3回 精神障害者支援の基本
- 第4回 精神保健福祉士の精神障害者支援①
- 第5回 精神保健福祉士の精神障害者支援②
- 第6回 精神保健福祉士の精神障害者支援③
- 第7回 精神障害者の支援モデル①
- 第8回 精神障害者の支援モデル②
- 第9回 相談援助の価値前提と原則①
- 第10回 相談援助の価値前提と原則②
- 第11回 相談援助のプロセスと援助関係①
- 第12回 相談援助のプロセスと援助関係②
- 第13回 相談援助のための面接技術①
- 第14回 相談援助のための面接技術②
- 第15回 相談援助のための面接技術③

【授業実施方法】 講義形式

【授業準備】

講義中に設定したテーマに対する内容の関連情報を新聞や文献等を用いて用意すること。

【主な関連する科目】

精神保健の課題と支援Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉制度論Ⅰ・Ⅱ、精神保健福祉援助演習

【教科書等】

古屋龍太編 5『精神保健の理論と相談援助の展開Ⅰ』、弘文堂
坂野憲司編 6『精神保健の理論と相談援助の展開Ⅱ』、弘文堂

【参考文献】

田中英樹：「精神障害者の自立支援活動」、
F・P・バイステック：「ケースワークの原則 援助関係を形成する技法」誠信書房

【成績評価方法】

試験 80%、レポート等 20%

【学生へのメッセージ】 精神障害者支援において当事者の人権を擁護し、ニーズに対する援助活動を展開するときに必要な知識、技術論を学ぶことによって精神保健福祉士の資質を自らに宿して欲しい。